

## 会議録

(1-7)

会議の名称	第10回春日部市中心市街地まちづくり審議会				
開催日時	令和7年9月29日（月）	開会	午前 10時00分		
		閉会	午前 11時15分		
開催場所	春日部市役所本庁舎コミュニティ棟1階ひだまりホール				
議長（会長等）氏名	久保田 尚				
出席者	委員氏名	(出席人数：13名) 久保田 尚、木下 芳郎、小沼 進、中島 邦彦、鈴木 敏仁 斎之平 伸一、小川 一博、山崎 正雄、池上 和成、早川 芳夫 外谷地 友幸、駒月 理人、村田 瞳剛			
	説明者その他	(出席人数：2名) [オブザーバー]埼玉県県土整備部道路街路課副課長：須永 寛子 [オブザーバー]埼玉県県土整備部道路街路課：須藤 輝			
	事務局	(出席人数：10名) 都市整備部長：渡辺 隆之 鉄道高架担当部長：中野 泰博 都市整備部参事：齊藤 博之 都市整備部参事：榎原 則之 都市整備部都市計画課中心市街地担当：6名			
次第及び公開・一部公開・非公開の区分	1 開会 2 会長及び副会長選出 3 議事（全て公開） (1) 報告事項 (2) その他 4 閉会				
一部公開・非公開の場合はその理由	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：				
配布資料	第10回春日部市中心市街地まちづくり審議会				
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録				
会議録署名の指定	中島 邦彦 委員				

発言者	発言内容・決定事項
委員	《 報告事項 1 春日部市中心市街地まちづくり計画の中間評価について 》 本日、初めて参加させていただいたが、春日部市中心市街地まちづくり計画（以下、「本計画」という。）は素晴らしい計画であり、是非実現していただきたいと思う。今後中間評価を行うことであるが、企業の場合、KPI（重要業績評価指標）を設定して数値を算出することで進捗状況の確認を行う手法を採用しているが、そのような数値目標は設定しているのか伺いたい。
事務局	現在の計画では数値目標の設定は行っていないが、今後行う中間評価の中で、例えば、道路整備など数値的に評価できるものについては数値を示すことはできるのではないかと考える。
委員	道路整備などについては、具体的な数値が算出できることは理解できるが、その他の事項についても進捗状況によって3段階～5段階で評価する方法やコメント等で記述する方法も可能ではないかと考えるがその点について伺いたい。
事務局	中間評価の方法については委員の意見も参考とさせていただき、今後検討してまいりたい。
委員	前回の春日部市中心市街地まちづくり審議会（以下、「本審議会」という。）の中では、国や県が推進しているコンパクトシティの推進に関する記載があったと思うが、その考えは本計画からは外れてしまったのか伺いたい。
事務局	本計画は令和3年3月に策定以降、内容は変更していない。
委員	当初、計画の柱であった中心市街地のコンパクトシティの推進について、特に言及はなかったが変わっていないという認識でよろしいか伺いたい。
事務局	現状の中で変わっていないが、今後の見直しの中で必要であれば検討してまいりたい。
委員	承知した。国が強く推進している施策への言及がなかったため、念のため質問させていただいた。
議長	以前から議論に挙がっている東西駅前広場の在り方について、本日は具体的な提示はなかったが、資料11ページのロードマップにもあるとおり、東西駅前広場の将来的な姿、中長期の段階的な整備の進め方等についてどのように考えているのか伺いたい。
事務局	令和5年9月に東西駅前広場整備基本計画を策定し、現在はこの後ご報告させていただく官民連携まちづくりを進めている。官民連携も

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	含め、市民の皆様からのご意見等を伺いながら駅前広場の整備を進めていきたいと考えている。
議長	資料 1 1 ページのロードマップの中に「戦略 2 多目的に長時間楽しく過ごせるまちづくり」の「2-1 人が集い・にぎわう駅前空間整備（東西駅前広場の再整備）」の「①居心地がよく快適に滞在できる広場空間の創出」の中で、計画策定から概ね 5 年後にあたる短期計画の間で、「市民意見の収集」とあるが、このことを指しているのか伺いたい。
事務局	「市民意見の収集」については東西駅前広場整備基本計画策定の中で駅前広場空間に必要な機能や設備についてアンケート調査を実施したところである。
議長	先ほど事務局から「市民の意見をいただきながら駅前広場の整備を進める」とあったが、この市民意見の収集はロードマップ上、どこに位置付けられるのか伺いたい。
事務局	アンケート調査も含め、先にも述べたように、今後の官民連携まちづくりの中でも検討いただき、いただいた意見を公共空間整備に活かしていきたいと考えている。
議長	その前提で、これまでの本審議会でも駅前広場への一般車の入場については、駅前広場の外に駐車場や停車場を設け、抑制するという議論があったが、将来的な駅前広場の姿が決まるのはいつ頃になるのか伺いたい。
事務局	本審議会においてご審議いただき、令和 5 年に東西駅前広場整備基本計画を策定しており、その際に市作成の CG イメージ図を公開している。このイメージ図を具体化していくにあたり、今後、官民連携まちづくりに伴うエリアプラットフォームを立ち上げ、その中で検討を続けていく予定であるため、具体的な将来像をお示しするにはお時間をいただきたい。
議長	資料 6 ページにある通過交通抑制エリアや住環境整備ゾーン等の交通安全対策についての具体的な方策は検討しているのか伺いたい。
事務局	本計画策定時には、春日部駅を中心に形成する環状道路内については、人々が安心安全に生活できるウォーカブルなまちづくりを目指していた。そのため、環状道路付近の駐車場を利用して、駅まで歩いていただく前提としていたが、駐車場を運営する事業者が撤退する等、周辺環境が大きく変わっている状況である。しかしながら、引き続き

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	駅を中心とした環状道路内については、人が安心安全に生活できるウォーカブルなまちづくりを進める方針は変わらず、市民の皆様と検討を重ねながら推進してまいりたい。
委員	ウォーカブルなまちづくりについて、オランダでは移動手段として自転車を活用としたまちづくりを行っており、駐輪場の整備が進んでいる。まちづくりにはコンセプトが必要である。現在の春日部市の観光行政においては、若者を中心に『クレヨンしんちゃん』を目的とした訪日外国人が前年比3倍に増加している。市役所本庁舎1階のモニュメントをはじめ、点在する形で『クレヨンしんちゃん』の観光スポットも増えてきているところである。中心市街地においても、例えば、駅の待ちあわせスポットや時計台に『クレヨンしんちゃん』を活用するなど、中心コンセプトを軸に進めていくことが良いのではないかと思う。
議長	具体的なご提案をいただいたが、いかがか。
事務局	この後、報告事項2で官民連携まちづくりについてご説明させていただくが、ご質問がありましたので先にお話させていただく。現在、春日部市の中心市街地では、市民の皆様によるまちづくり活動が盛んになっている。その方々を中心に「エリアプラットフォーム」の設立を検討しており、令和8年度に将来に向けた官民連携まちづくりのコンセプトを定めた「未来ビジョン」を策定し、その方針に基づいて、まちづくりを進める予定である。訪日外国人の大幅な増加も踏まえ、インバウンドの視点もビジョンに反映したいと考えている。
議長	先ほど、オランダでの自転車を活用したまちづくりの事例が委員より触れられていたが、本審議会では自転車に関する議論はされていたかどうか伺いたい。
事務局	本計画の中では自転車に関する議論は行っていない。連続立体交差事業の進捗に伴い、令和6年度に西口にあった市の自転車駐車場は解体された。今後については、関係者と配置検討を行ってまいりたい。
議長	自転車の使用ということを鑑みれば、駐車する場所と通行する空間が必要であると思う。折角、ウォーカブルな空間を作ったつもりが自転車が進入してきてはその効果が見込めない状態となってしまう。オランダのように歩行空間と自転車空間を分離した交通整理が必要であり、市民の皆様にとっても関心の高い事項であることから、今後、自転車についても本審議会において議論を深めてまいりたいと思う。
事務局	課題として、検討してまいりたい。

発言者	発言内容・決定事項
委員	<p>自転車について、資料6ページにある春日部中央一丁目地区において、朝夕の自転車流入量が過大であり、飽和状態であることから大変危険な状況である。また、住環境整備ゾーンは高齢者の斜め横断や歩行者分離すらできていない状態である。そのような状況の中、駐輪場を新しく作るだけでは解決できないため、再考をお願いしたい。</p>
委員	<p>《報告事項2 中心市街地における官民連携まちづくりについて》</p> <p>先ほど、インバウンドについて約3倍に増加している旨のご発言があつたが、それは日帰りの観光客が10人から30人に増加したのか、それとも市内で一日を過ごして宿泊していく観光客が1万人から3万人に増加したのかでも施策は大きく変わるものだと考える。市のリソースを最大限に発揮し効果が期待できるものであれば、社会資本を投じる必要性もあるかと思う。その点も含め、具体的な数値をお示しいただきたい。</p> <p>また、エリアプラットフォームや未来ビジョンなどカタカナ表記が多いと感じる。エリアプラットフォームと聞いて内容を理解できる方がどの程度いるかはわからないが、昨今の高齢化社会の中で、広く市民がわかりやすい言葉を使用した方がよいのではないかと感じるがいかがか。</p>
委員	<p>最初の質問については、観光協会の会長を務めているので私から回答させていただく。調査の結果、インバウンドの総数は約2万5千人であり、国別では中国・韓国・台湾からお越しになる方が多い。来訪の目的は大部分が『クレヨンしんちゃん』に関するものであり、年齢層では、20~30代の若年層が多数を占めている。経済効果については観光協会では数値を出していなかったため、市役所にお願いしたいところであるが、インバウンドが増加しても必ずしも地元の経済効果につながるわけではないと思う。例えば、埼玉県川越市ではインバウンドの観光客で交通が滞るなどの問題もある。また、私が経営している製菓会社でも好立地に出店したが、期待する経済的利益は得られなかつた。インバウンド客の多くは商品を購入し、食べ歩きを中心楽しむが、中には近隣の住宅地にごみを捨てるといった深刻なデメリットも発生している。したがって、インバウンドによって、人が多く集まつても経済効果が自動的に生まれるわけではなく、状況に応じた対策を講じることが重要であると考える。</p>

発言者	発言内容・決定事項
事務局	2つ目のご質問について、エリアプラットフォームという概念は、昨今のまちづくりの潮流として存在感を増してきているが、まだまだ浸透されているわけではない。今後、市民の皆様へ丁寧に説明していくことで、その考えを深く浸透していけるよう努力してまいりたい。
議長	エリアプラットフォームに参加する方は既に決まっているのか伺いたい。
事務局	現在は具体的な構成者は決まっていないが、官民連携まちづくりに関する合意形成を素早く実行していくため、40代以下を中心に20人前後で組織化していきたいと考えている。
委員	資料10ページに市民参画のプラットフォームとして、まちづくりサロンがあるが、これはエリアプラットフォームと平行として行われるのか、それともまちづくりサロンがエリアプラットフォームに含まれるのか伺いたい。
事務局	まちづくりサロンは本計画を策定・推進していくため市民の方からご意見をいただくための組織として位置付けられている。一方、エリアプラットフォームについては、官民連携に特化した市民意見の収集という機能も持ち合わせているため、平行していくものと考えている。どちらにおいても共通することは、より多くの市民の皆様のご意見をいただきながら推進してまいりたい。
委員	本計画とコンパクトシティの関連性についてはどの程度求めているのか伺いたい。
事務局	本市ではコンパクトシティを推進するために立地適正化計画を定めている。立地適正化計画において都市機能を誘導するエリアと本計画の対象エリアは重複したものとして位置付けている。
委員	立地適正化計画を策定して成功した事例はあまり聞いたことがない。まちづくりの方向性として立地適正化計画を定め、それに沿ったまちづくりを持続的に進めていくのは良いと思うが、個々の事情によってそこに居住する市民がいることを鑑みれば、立地適正化計画を意識しないまちづくりを計画にした方がよいのではないかと考える。
委員 議長	委員のご指摘の通りだと思う。
	補足として、居住誘導区域については規制ではなく、数十年単位の時間をかけてゆるやかに都市をコンパクトにしていくという政策の一環である。
	そのため、成功事例がないと判断するには時期尚早ではないかと考え

議事の経過	
発言者	発言内容・決定事項
議長	る。本計画の関連で言えば、立地適正化計画で都市機能誘導区域がどこに位置付けるかがポイントであり、それは概ね一致していると事務局から回答があった。本計画は大変インパクトがあり、重要な計画であることから、今後目に見えて進んでいくことを期待したい。 最後に、全体を通して質問やご意見があればお願ひしたい。
事務局	先ほどの報告1の中で委員よりご質問のありました本計画におけるKPIの設定について補足させていただく。市の最上位計画である春日部市総合振興計画の中で、まちづくりの基本目標についてKPIを設定している。そのため、本計画において新たにKPIを設定することは現段階では考えていないものであり、まずは春日部市総合振興計画で定めているKPIを達成していきたいと考えている。
議長	以上で本日の議題はすべて終了とさせていただく。